

## 生活基盤施設耐震化等事業計画

計画の名称		佐賀県内における水道施設の強靱化推進					
計画の期間	平成29年度～平成31年度(3年間)	交付対象	唐津市、伊万里市、多久市、嬉野市、有田町				
計画の目標	県内の水道事業者が実施する水道未普及地域の解消事業や水道施設の事業統合や老朽管更新事業、基幹水道構造物の耐震化事業等の整備を推進し、社会基盤施設の構築を図る。 また、水道施設の計画的な更新など、適切な資産管理を行えるよう水道施設台帳の整備及びシステム化を図る。						
計画の成果目標(定量的指標)							
唐津市	水道加入者数の向上	(H30年度末:88人	H31年度末:190人)				
	管路の耐震適合率の向上	(H30年度当初:15.9%	H31年度末:17.5%)				
伊万里市	取水施設の耐震化率の向上	(H28年度当初:18.2%	H30年度末:100%)				
	管路の耐震適合率の向上	(H28年度当初:20.3%	H30年度末:20.6%)				
	浄水施設の耐震化率の向上	(H31年度当初:0%	H31年度末:92%)				
多久市	水道台帳整備率	(H30年度当初:0%	H30年度末:100%)				
嬉野市	不動山地区における送配水施設の整備	(H29年度当初:70%	H29年度末:100%)				
	木場地区における送配水施設の整備	(H29年度当初:72%	H29年度末:100%)				
	嬉野市内における取水・浄水施設の耐震化率の向上	(H29年度当初:0%	H31年度末:86%)				
有田町	管路の耐震適合率の向上	(H31年度当初:6.5%	H31年度末:6.6%)				
定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値			備考		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値			
		(H29年度当初)	(H30年度末)	(H31年度末)			
唐津市	水道加入者数(人):整備地区内の水道加入者数	-	88人	190人			
	耐震適合率(%):耐震適合性のある管路延長/管路総延長	-	16.6%	17.5%			
伊万里市	取水・導水施設の耐震化率(%):市上水道の耐震化済みの取水能力/市上水道の全取水能力	19.7%	100.0%	-			
	耐震適合率(%):耐震適合性のある管路延長/管路総延長	20.5%	20.6%	-			
	浦ノ崎浄水場の耐震化整備率(%):当該年度事業費/全体事業費	-	-	92.0%			
多久市	水道台帳整備率(%):当該年度事業費/全体事業費	-	100%	-			
嬉野市	不動山地区 整備率(%):当該年度事業費/全体事業費	70%	100%	-			
	木場地区 整備率(%):当該年度事業費/全体事業費	72%	100%	-			
	取水・浄水施設の耐震化率(%):市上水道の耐震化済みの取水能力/市上水道の全取水能力	0%	0%	86%			
有田町	耐震適合率(%):耐震適合性のある管路延長/管路総延長	-	-	6.6%			
全体事業費 (A+B+C)	(2,735,924千円) 2,715,308千円	A	(2,715,924千円) 2,695,308千円	B	(20,000千円) 20,000千円	C	(0千円)
全体交付額 (A+B+C)	(437,124千円) 409,381千円	A	(436,124千円) 408,381千円	B	(1,000千円) 1,000千円	C	(0千円)

1. 交付対象事業の進捗状況												
A 水道施設等耐震化事業												
番号	事業種別	地域種別	事業主体	事業内容	事業実施期間(年度)			事業費(千円)	事業進捗	備考		
					H29	H30	H31					
1	水道	一般	伊万里市	取水施設の耐震化事業(緊急時給水拠点確保等事業費)	――	――		(1,186,945)	完了	全体交付額	(107,500) (当初)	
					――	――		1,269,675		107,500 (実績)		
2	水道	一般	伊万里市	水道管路緊急改善事業(水道管路耐震化等推進事業費)	――	――		(171,955)	完了	全体交付額	(32,727) (当初)	
					――	――		176,613		32,529 (実績)		
3	簡水	一般	嬉野市	不動山地区の上水道区域への統合(簡易水道再編推進事業)	――	――		(222,782)	完了	全体交付額	(73,418) (当初)	
					――	――		222,782		73,418 (実績)		
4	簡水	一般	嬉野市	木場地区の上水道区域への統合(簡易水道再編推進事業)	――	――		(176,931)	完了	全体交付額	(69,061) (当初)	
					――	――		176,564		69,061 (実績)		
5	水道	一般	嬉野市	清水浄水場の耐震化(補強)(緊急時給水拠点確保等事業)	――	――		(87,800)	完了	全体交付額	(20,075) (当初)	
					――	――		91,966		19,527 (実績)		
6	水道	一般	唐津市	水道管路緊急改善事業(水道管路耐震化等推進事業費)	――	――		(550,000)	継続	全体交付額	(86,666) (当初)	
					――	――		460,953		62,726 (実績)		
7	水道	一般	唐津市	重要給水施設配水管(緊急時給水拠点確保等事業費)	――	――		(10,000)	継続	全体交付額	(2,500) (当初)	
					――	――		4,565		1,141 (実績)		
8	水道	一般	唐津市	給水区域内無水源(水道未普及地域解消事業)	――	――		(53,031)	継続	全体交付額	(17,677) (当初)	
					――	――		53,221		17,677 (実績)		
9	水道	一般	伊万里市	浄水施設の耐震化事業(緊急時給水拠点確保等事業費)	――	――		(193,912)	完了	全体交付額	(6,800) (当初)	
					――	――		178,028		6,800 (実績)		
10	水道	一般	伊万里市	水道管路緊急改善事業(水道管路耐震化等推進事業費)	――	――		(31,867)	継続	全体交付額	(9,467) (当初)	
					――	――		30,240		7,769 (実績)		
11	水道	一般	有田町	水道管路緊急改善事業(水道管路耐震化等推進事業費)	――	――		(30,701)	完了	全体交付額	(10,233) (当初)	
					――	――		30,701		10,233 (実績)		
合計								(2,715,924)		全体交付額	(436,124) (当初)	
								2,695,308			408,381 (実績)	
B 水道事業運営基盤強化推進等事業												
番号	事業種別	地域種別	事業主体	事業名	事業実施期間(年度)			事業費(千円)	事業進捗	備考		
					H29	H30	H31					
1	水道	一般	多久市	水道施設台帳整備事業	――	――		(20,000)	完了	全体交付額	(1,000) (当初)	
					――	――		20,000		1,000 (実績)		
合計								(20,000)		全体交付額	(1,000) (当初)	
								20,000			1,000 (実績)	
C 官民連携等基盤強化支援事業												
番号	事業種別	地域種別	事業者	事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)			全体事業費(千円)	全体交付額(千円)	備考
							H29	H30	H31			
							合計			0	0	

2.事業効果の発現状況、評価指標の実施状況					
事業効果の発現状況		簡易水道再編推進事業の実施により、上水エリアへの統合が進み、安心で安定した水道水の供給が可能となった。 また、緊急時給水拠点確保等事業、水道管路耐震化等推進事業の実施により、浄水場、水道管路の耐震化を図ることで、災害時における給水能力が向上した。			
評価指標の実現状況	指標 水道加入者数（唐津市）	目標値	190人	目標値と実績値に差が出た要因	工事単価の増により、当初予定していた整備延長より短くなったため。 また、給水工事費の負担等により、当初想定していたほど水道への切替が進まなかった。
		実績値	100人		
	指標 管路の耐震適合率（唐津市）	目標値	17.5%	目標値と実績値に差が出た要因	
		実績値	17.5%		
	指標 取水・導水施設の耐震率 （伊万里市）	目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		実績値	100%		
	指標 管路の耐震適合率 （伊万里市）	目標値	20.6%	目標値と実績値に差が出た要因	関係事業者との調整が遅れたため、整備延長は目標に達していないが、 市営簡易水道事業の統合に伴い管路延長を見直した結果、目標値を上回った。
		実績値	22.9%		
	指標 浦ノ崎浄水場の耐震化整備率 （伊万里市）	目標値	92.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		実績値	92.0%		
	指標 水道台帳整備率（多久市）	目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		実績値	100%		
	指標 整備率（嬉野市）	目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		実績値	100%		
指標 整備率（嬉野市）	目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因		
	実績値	100%			
指標 取水・浄水施設の耐震率 （嬉野市）	目標値	86%	目標値と実績値に差が出た要因		
	実績値	86%			
指標 管路の耐震適合率（有田町）	目標値	6.6%	目標値と実績値に差が出た要因		
	実績値	6.6%			
評価指標以外の事業効果の発現状況 （必要に応じて）					
3.今後の方針等					
佐賀県内の水道施設の耐震化等を推進し、安全な水道水を安定的に供給できる強靱な水道基盤の構築に努めたい。					